

# IJCAD マイグレージョンツール

マニュアル



IntelliJapan

# 目次

## 1. 移行する前に

- 1-1. 動作環境----- 1
- 1-2. 使用上の注意点----- 2
- 1-3. 環境移行のための準備----- 2

## 2. 環境移行作業について

- 2-1. 旧バージョンから新バージョンへの移行方法----- 5
- 2-2. 同一バージョン間の移行方法----- 8

## 3. Q&A

- 3-1. ログファイルについて----- 10

# 1. 移行する前に

IJCAD の環境設定を移行する前に以下の内容を必ずご確認ください。

## 1-1. 動作環境

本製品をご使用いただくためには、以下の動作環境が必要です。（最新の IJCAD と同一）  
 なお、予告せず変更されることがあります。  
 最新の対応 OS の情報は、Web ページ(<https://www.ijcad.jp/>)にてご確認ください。

CPU	Core i5 以上を推奨
RAM	最低動作環境 4GB 推奨動作環境 8GB 以上 <b>図面の容量によってはより高い RAM 環境が必要な場合があるため 64bit OS 推奨</b>
HDD(SSD)	550MB 以上
対応 OS	Windows 8.1 Windows 10 バージョン 21H1 <b>64bit OS 推奨</b>
ディスプレイ カード	推奨動作環境 2GB GPU (Intel(R) HD Graphics 4000 などのオンボードグラフィックでの動作実績もあり)
ネットワーク ライセンスサーバー	<b>[ネットワークライセンスをご利用の場合のみ]</b> Windows Server 2012 R2 Windows Server 2016 Windows Server 2019
その他	.NET Framework 4.8 (※)
	<b>[DVD からインストールを行う場合のみ]</b> DVD-ROM ドライブ

※ お使いのパソコンに「.NET Framework 4.8」がインストールされていない場合は、  
 下記 IJCAD 環境設定用モジュールダウンロードページよりダウンロードしてください。  
 ([https://www.ijcad.jp/dl\\_htmls/DL\\_ijcad\\_tools.html](https://www.ijcad.jp/dl_htmls/DL_ijcad_tools.html))

## 1-2. 使用上の注意点

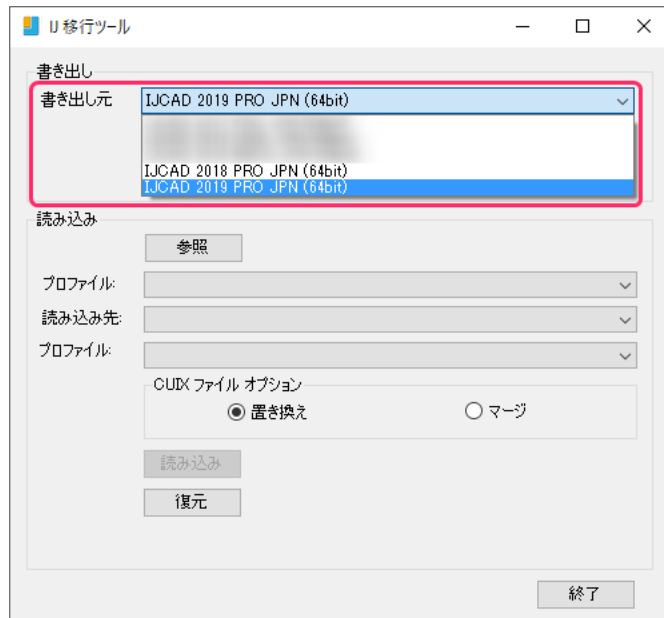
本製品が使用できるのは  
 PRO 版から PRO 版へ といった**同グレード間**での移行、  
 64Bit 版から 64Bit 版へ といった**同じ Bit 数の環境への移行**のみです。

例) ○…IJCAD 2021 STD 64Bit → IJCAD 2022 STD 64Bit への移行  
 IJCAD 2022 LT 32Bit → IJCAD 2022 LT 32Bit への移行

×…IJCAD 2021 **STD** 64Bit → IJCAD 2022 **PRO** 64Bit への移行  
 IJCAD 2022 LT **32Bit** → IJCAD 2022 LT **64Bit** への移行

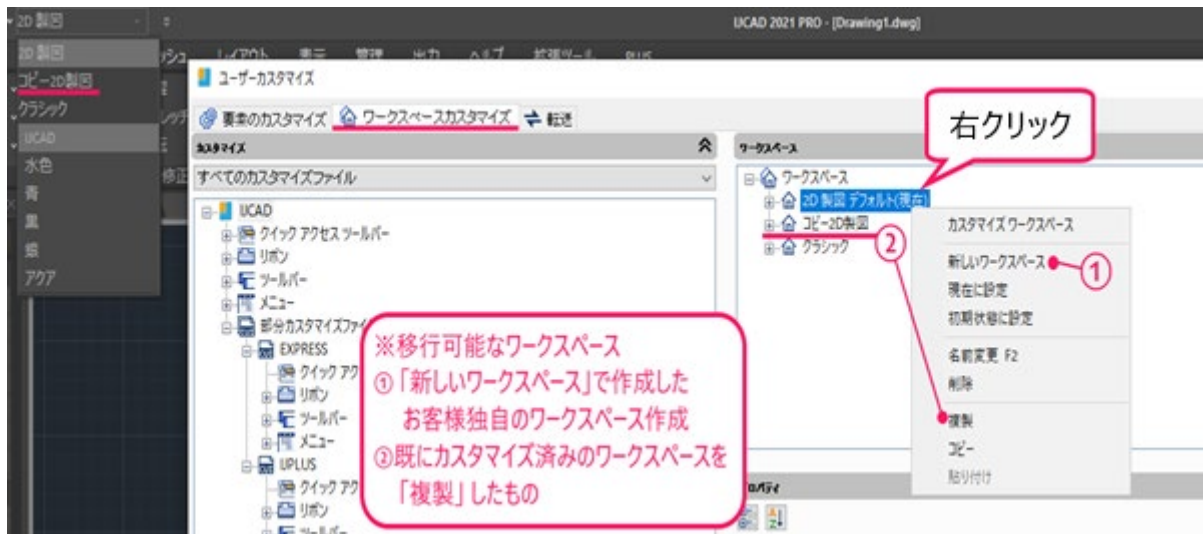
## 1-3. 環境移行のための準備

- IJCAD をインストール後、必ず [管理者として実行] から IJCAD を起動してください。  
 この操作を行うことで対象の IJCAD がマイグレーションツールに認識され、  
 「書き出し元」「読み込み先」の候補に表示されるようになります。



※IJCAD の詳しいセットアップ方法は「IJCAD 2022 セットアップマニュアル.pdf」をご覧ください。

- 現在 IJCAD のデフォルトのワークスペース「2D 製図」「クラシック」が移行できません。  
お客様独自で作成されたワークスペース、またはデフォルトのワークスペースを複製したもののみ、移行することができます。



## 2. 環境移行作業について

環境の移行元と移行先の製品バージョンにより、操作手順が異なります。

- ・ IJCAD の旧バージョンから新バージョンへの移行  
(例：2021→2022)
- ・ IJCAD の同一バージョン間の移行  
(例：パソコン A の 2022→パソコン B の 2022)

それぞれ、下記の手順を参照してください。

- **旧バージョンから新バージョンへ移行する**
  - ・・・『[2-1. 旧バージョンから新バージョンへの移行方法](#)』
- **同一バージョン間で移行する**
  - ・・・『[2-2. 同一バージョン間の移行方法](#)』

## 2-1. 旧バージョンから新バージョンへの移行方法

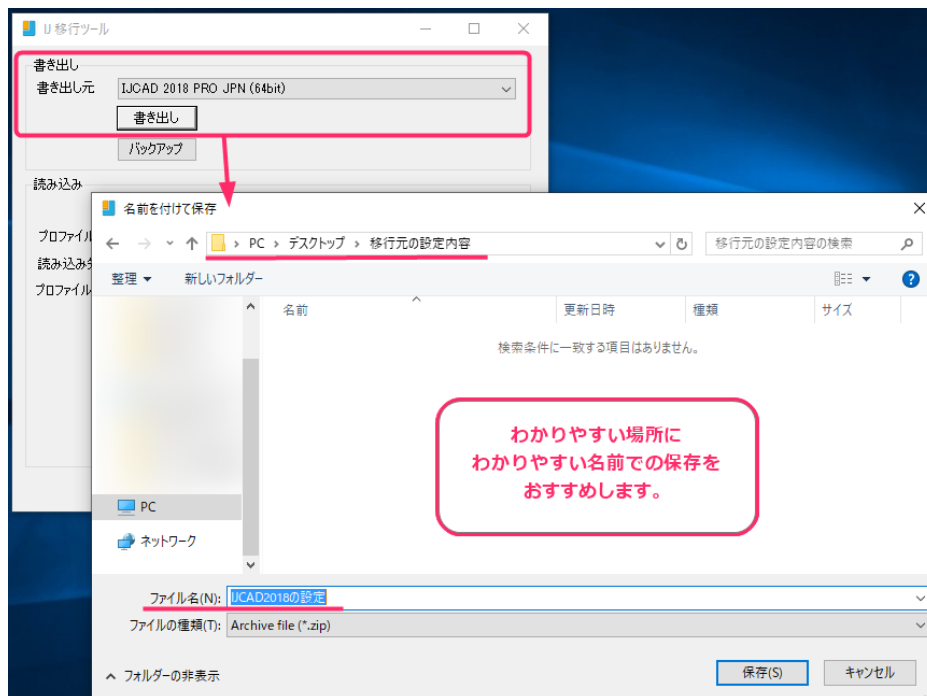
### ① マイグレーションツールを起動

IJCAD のスタートアップメニューから  
「Migration Tool (マイグレーションツール)」を起動してください。

### ② 移行元の IJCAD を選択

環境を移行したい IJCAD (今まで使用していた IJCAD) を  
「書き出し元」の一覧から選択して、「書き出し」ボタンを押してください。

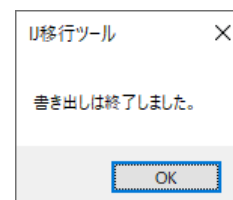
「名前を付けて保存」ダイアログが開きますので  
わかりやすい場所に、わかりやすいファイル名で保存してください。



### ③ ファイルの保存先を確認

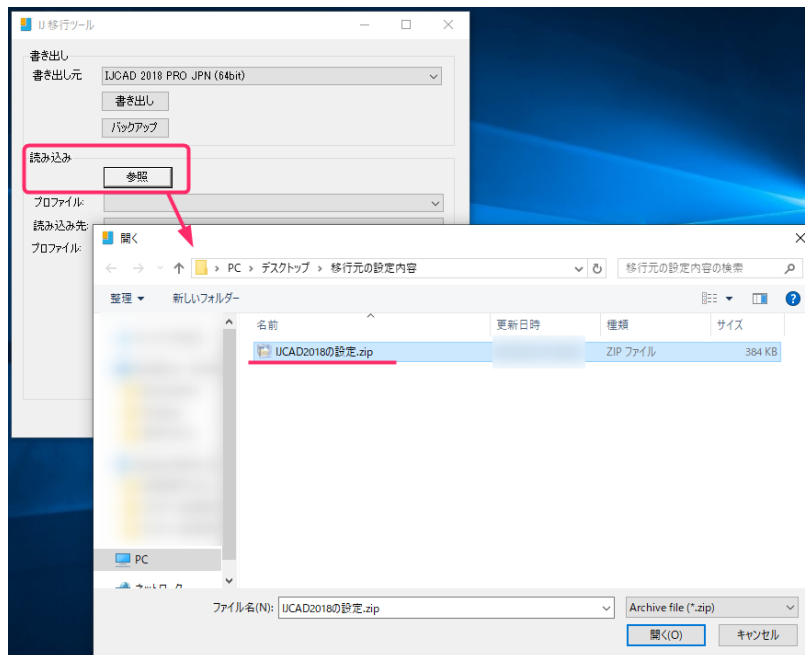
書き出しが完了すると  
右のようなメッセージが表示されます。

指定した保存先に ZIP 形式のファイルが  
作成されていることを確認してください。



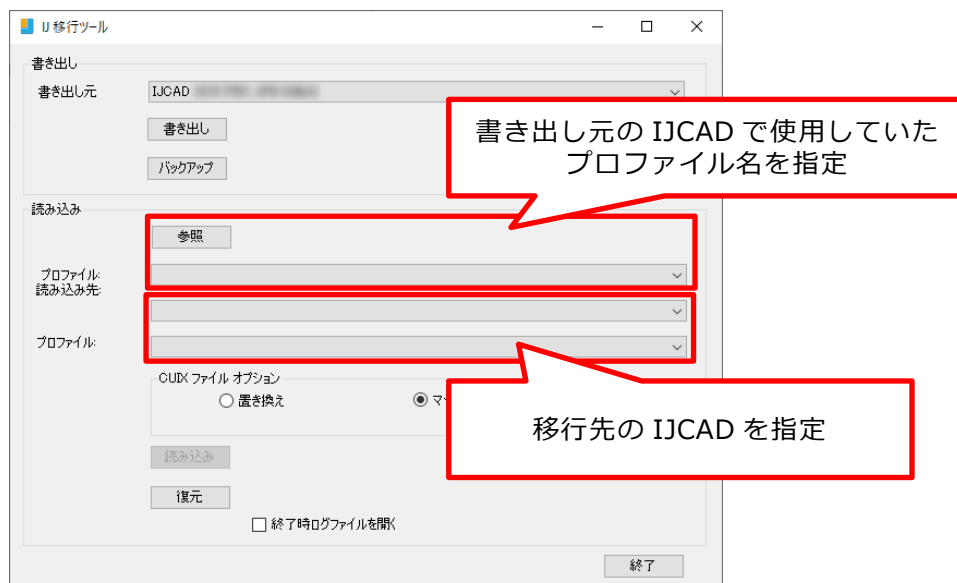
#### ④ 書き出したファイルを選択

手順②③で書き出した ZIP 形式のファイルを「読み込み」の「参照」ボタンから選択してください。



#### ⑤ 移行するプロファイルと移行先を選択

書き出し元の IJCAD で使用していたプロファイル名を選択し、「読み込み先」として移行先の IJCAD を指定してください。

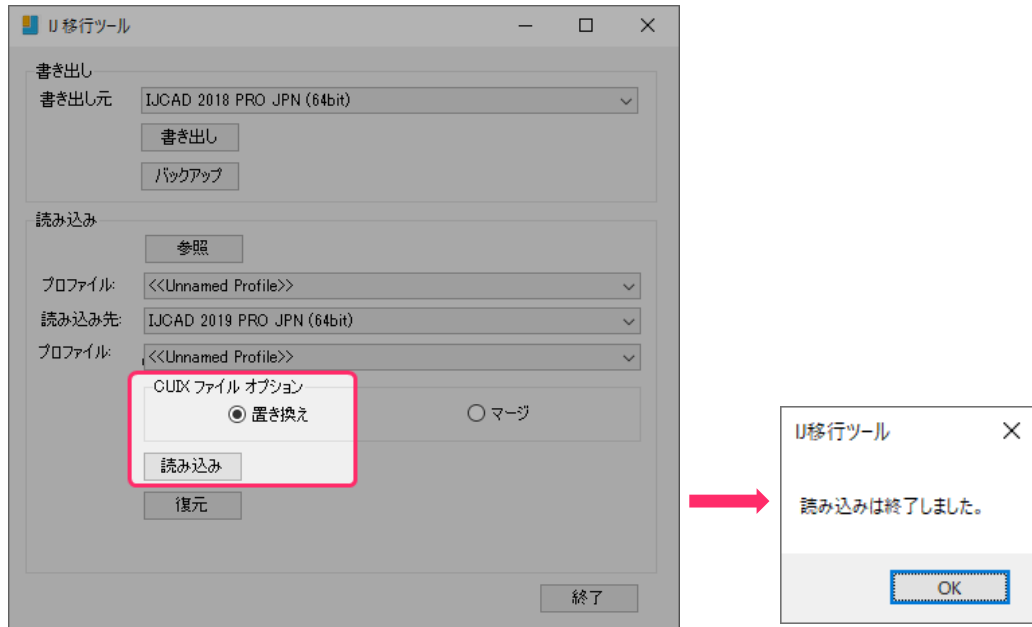




## ⑥ CUIX ファイルオプションの選択と読み込み

CUIX ファイル オプションで「置き換え」を指定し  
「読み込み」ボタンを押してください。

右のようなメッセージが表示されたら移行完了です。



## 2-2. 同一バージョン間の移行方法

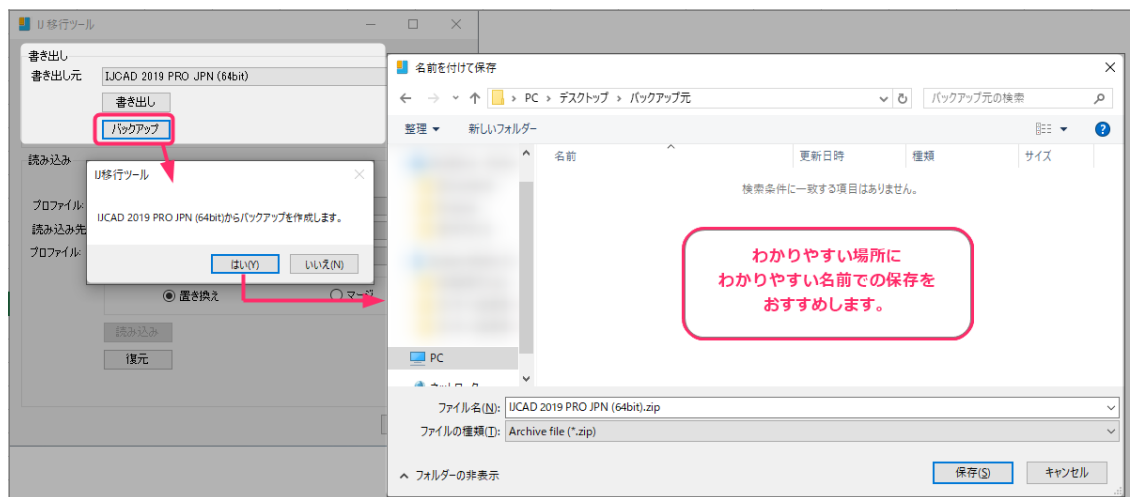
### ① マイグレーションツールを起動

移行元の IJCAD がインストールされたパソコンのスタートアップメニューから「Migration Tool (マイグレーションツール)」を起動してください。

### ② 移行元の IJCAD を選択

環境を移行したい IJCAD (環境設定済みの IJCAD) を「書き出し元」の一覧から選択して、「バックアップ」ボタンを押してください。

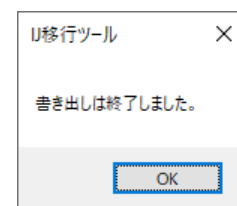
「名前を付けて保存」ダイアログが開きますので、わかりやすい場所に、わかりやすいファイル名で保存してください。



### ③ ファイルの保存先を確認

バックアップが完了すると右のようなメッセージが表示されます。

指定した保存先に ZIP 形式のファイルが作成されていることを確認して、移行先のパソコンへ ZIP ファイルを移動してください。

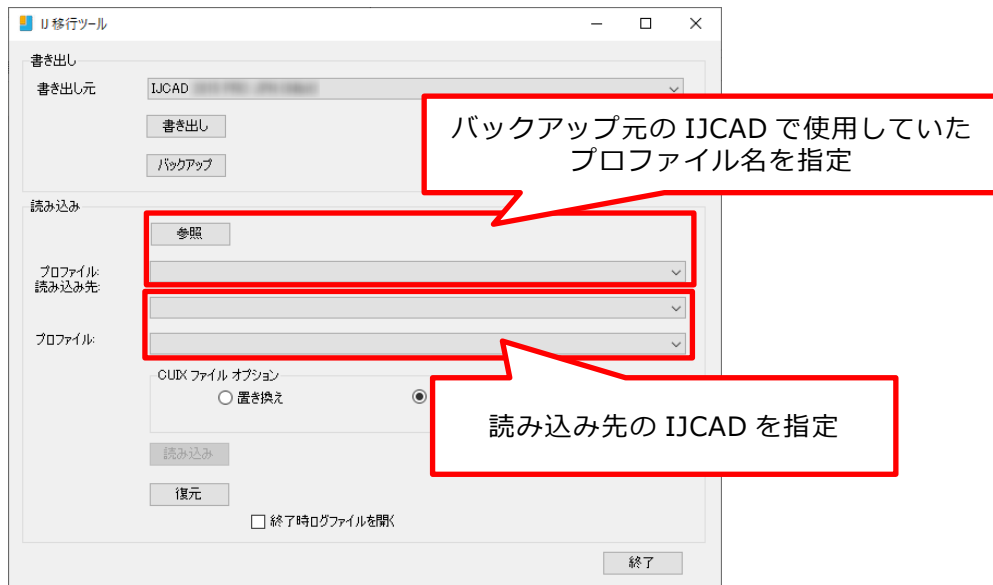


### ④ マイグレーションツールを起動

移行先の IJCAD 2022 がインストールされたパソコンのスタートアップメニューから「マイグレーションツール」を起動してください。

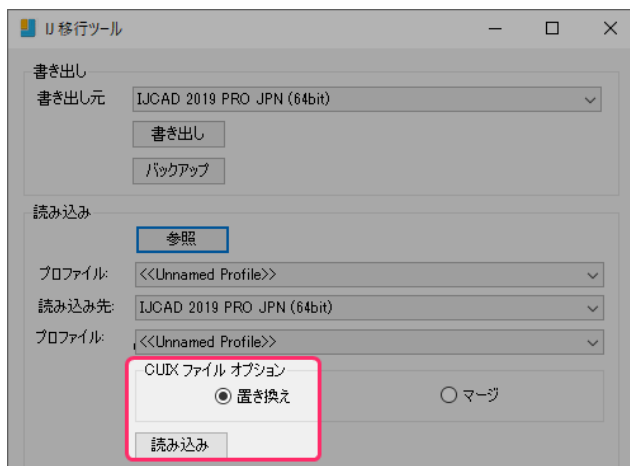
## ⑤ 移行するプロファイルと適用先を選択

バックアップ元の IJCAD で使用していたプロファイル名を選択し、「読み込み先」としての IJCAD を指定してください。



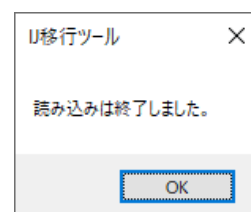
## ⑥ CUIX ファイル オプションの選択と読み込み

CUIX ファイル オプションで「置き換え」を指定し「読み込み」ボタンを押してください。



## ⑦ 復元の対象の確認

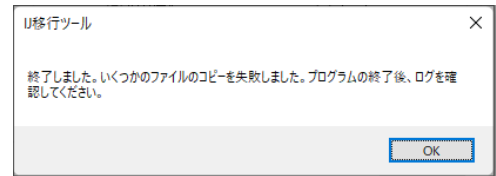
右のようなメッセージが表示されたら適用完了です。



## 3. Q&A

### 3-1. ログファイルについて

移行先を指定し ZIP ファイルの「読み込み」を行った際に右のようなダイアログが表示されることがあります。



マイグレーションツールを再起動し、再度「読み込み」を行ってください。

それでも同じメッセージが表示される場合は、マイグレーションツールを終了後、以下のパスに作成されるログファイルをご確認ください。

パス ... C:¥Users¥ (ユーザー名) ¥AppData¥Local¥Temp

ファイル名 ... IJMigration. (yyyymmddhhmmss) .log

( ) の中は「読み込み」実行時の日時が 14 桁の数字で記録されます。